

④新たにバネ連結を追加する（上下からスライドさせて組み込む）



⑤取り外していた2本のバーを再度取り付ける

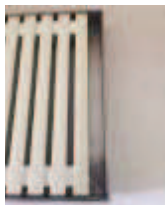


⑥バネ連結が伸縮してすき間なく収まります



### ○ちょっと長くしたい時

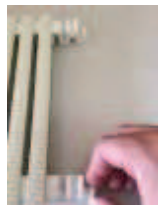
①受枠に対し、グレーチングの長さが少し足りない時



②一番端のバーを取り外す（バーをひねると外れます）



③新たにバネ連結を追加する（上下からスライドさせて組み込む）



④元のバーを取り付ける



⑤新たにバー1本を追加する



⑥伸縮してすき間なく収まります



※上記で対応が難しい場合は連結のツメ部分をカットしても良いです。ただし、安全のため角は取ってください。

## IV. お手入れ方法

- 当製品はポリプロピレンを主材料としているため、一般家庭用洗剤や次亜塩素酸で洗っていただいて特に問題ありません。清掃後はよく水洗いをしてください。
- 抗菌・防カビ剤を配合しておりますが、日頃のお手入れを大切に、清潔に使っていただくようお願い致します。
- グレーチングに割れ、外れ等の異常がある場合は、足をケガする恐れがありますので、すぐに取替えか組直しを行ってください。
- 取外し、取付けを繰り返すと連結部が弱くなることがあります。清掃時にグレーチングを取り外すときは丁寧に扱っていただきますようお願いいたします。
- 古くなって取替える場合はリサイクルが可能ですので、各自自治体までお問い合わせください。

## V. 注意事項

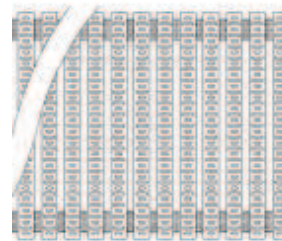
- 当製品はプールや浴室等の水周りに設置する溝蓋です。人が素足で利用する箇所を前提としておりますので、重量物や車輪が載る箇所での使用はお止めください。
- 滑り止めは付いていますが、危ないので上を走らないようにしてください。
- 高温（80℃以上）となる箇所での使用はお止めください。
- 製品が変形、破損している場合は使用をお止めください。
- 本来の用途以外には使用しないでください。



## 取扱説明書

# Safety Fit Grating

このたびは当社の樹脂グレーチング「Safety Fit Grating」をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。当製品を安全にお取扱いいただくために本説明書を添付いたします。設置方法、使用方法を守って、快適に、ご安全にご利用ください。



### 樹脂グレーチング設置要領

1. 定尺（1m）2枚をつなぎ、2mにする
2. 端からグレーチングを若干縮めながら詰めて敷きこむ  
※バネ連結を冬場は4mm、夏場は2mmを目安に縮める  
※曲線用（R）の時はバネ連結を内径側に使用する
3. 端部調整を行い、すき間が空かないように注意する
4. バーの浮き、外れがないか確認して完了です

※なお、以下の組み立て方法につきましては下記 HP に動画も掲載しておりますのでご覧ください。  
<http://chuosangyo.co.jp/lp/sg/>

動画①



基本構造の説明

動画②



施工にあたって

HP



サイズ・試験など

## I. 基本のつくり



バー材



連結部材



ハネ連結



組み付け状況（バー+連結）

※連結部材のつなげ方



まず、連結は上記のように上下からスライドさせるようにして繋げてください。次に、繋いだ部分を両側から引っ張って、すき間を作ります。そのすき間にバー材を軽く押し込み、ハンマーで最後まで叩き込めば完了です。

※定尺（1m）の仕様

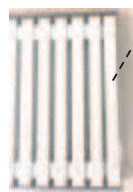


定尺長さ：998mm+ツメ出し ⇒ 2枚つないで2015~2019mmとなります。

## II. 敷き込み前の準備と敷き込みのポイント

1. 定尺（1m）2枚をつなぎ、2mにする

2. 端からグレーチングを若干縮めながら詰めて敷きこむ



ハネ連結を冬場は4mm、夏場は2mmを目安に縮めて敷きこむ



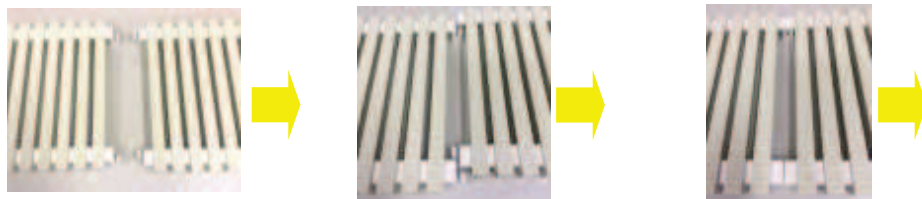
曲線用（R）の時はハネ連結を内径側に使用する

3. 端部調整を行い、すき間が空かないように注意する

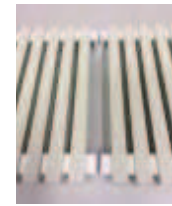


※まず初めに：定尺2枚をつないで2mにする（グレーチング・バーのつなげ方）

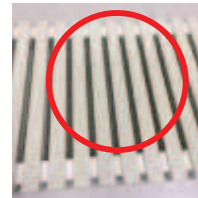
①連結のツメがた部分に向かい合わせる  
②ツメ同士を上下からスライドさせて組み込む  
③最後まで組み込み、ツメ同士が抜けないことを確認する



④両側から引っ張り、ツメ同士のすき間を少し空ける



完成  
バーの浮き、外れがないことを確認して完成となります



⑤できたすき間にバー材を軽く押し込む



失敗例①  
ツメが抜けている、もしくはツメが最後まで組み込まれていない



⑥ゴムハンマーで上から叩き込み、確実に固定する



失敗例②  
連結とバーが外れている、もしくはバーが浮いている



## III. 端部調整の仕方

○長さを短くしたいとき

①取り外したいバーが上にくるように全体を曲げる ※無理にバーを引き抜かないで下さい



②連結にすき間が生まれると、バーが浮いて、簡単に取り外せるようになります



③バーを取り外した後は、上下にスライドさせて連結を外して下さい



④出来た連結のツメの部分に外したバー材を軽く押し込む



⑤ゴムハンマーで上から叩き込み、確実に組み付ける

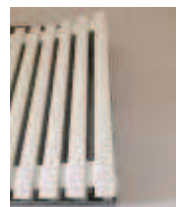


⑥バーの浮き、外れがないことを確認して、完成です



○ちょっと縮めたい時

①長くて受枠に収まらない時



②一番端のバーを取り外す



③連結と二番目のバーも外す

